理研会報

発行
印教研　理科研究部

事務局
成田市成田950
成田小学校内

折目宇和君特別賞に輝く

去る十月二十三日に行われたオ二十回県生徒児童科学くふう作品展受賞式において，富里南小学校三年折目宇和君の作品「鳥のロボット」が特別賞八点の中にえらばれ，教育研究会理科部会長賞を受け，科学論文展（千葉県審査）では印西中学校一年秋坂久美子さん他二名の「色素の分析」が優秀賞に選ばれるなど数々の好成績をあげました。

本郡市関係の受賞者は次の通り。

くふう作品の部

銅賞 うごくとり　鈴木　裕美 下志津小一年
入〃 花じどう車　佐山　ゆみ　〃
銀〃 びっくりおもちゃ　やまくらけんー [illegible]
入〃 うごくくじら　小川かずや 成東小一年
入〃 サーカス　いとうかつひで 木下小一年
銅〃 くじゃく　坪倉加津子 [illegible]
入〃 えさをたべる動物　田丸美佐子 [illegible]
特別賞 鳥のロボット　折目　宇和 富里南小三年
入〃 星の観測台　吉田恵美子 [illegible]
銀〃 虫のダンス　小野　進代 [illegible]
入〃 三段式 [illegible]　椎名　浩子 [illegible]
銅〃 糸まり糸まき　五十嵐容子 [illegible]
入〃 けんび鏡 [illegible]　青木まゆみ [illegible]
入〃 改良運動ぐつ　山崎　裕寿 [illegible]
入〃 ちりとり　遠藤　美香 [illegible]
入〃 [illegible]　柴田　恭司 [illegible]
銀〃 自動つききり　鎮目　武 [illegible]

科学論文の部

優秀賞 色素の分析　秋坂久美子他2 印西中一年
入〃 貝と地層の研究　根本　兼雄 富里中三年
入〃 [illegible]　日暮 [illegible]他4名 [illegible]
入〃 太陽の自転の証明　伊藤　好男 八街中三年
金〃 アゲハのたんじょう　佐藤　友信 [illegible]
入〃 ありの観察　紺野真理子 [illegible]
入〃 汁の変化　古嶋理恵子 [illegible]
入〃 花粉しらべ　遠藤　勝男 [illegible]
入〃 紙にしみこむ油　川上てる子 [illegible]

標本の部

入賞 家のまわりの葉　こばやしとしはる 木下小一年
入〃 シダの標本　花安　利章 [illegible]
入〃 植物標本　新島　玲子 [illegible]
入〃 昆虫採集　森原　俊安 [illegible]
入〃 地層と化石　浜田　和代 富里中一年
入〃 しだとこけの採集　石橋　英次 [illegible]中三年

ぼくはこんなところをくふうしてみた

富里南小三年　折目　宇和

夏休みのしゅくだいで，ぼくは，おとうさんと，そうだんした。「ゴムでうごくおもちゃを作ったら」とおしえてくれた。

始めは，ゆかの上を走るのだったが「鳥のように上るように，やってみたら」といわれた。

かとりせんこうのはこでやったら，ゴムの力で，はこがまがってしまった。またおとうさんが「バルサでやってみたらいいよ」といって八街にバルサを買いにつれていってくれた。「バルサはかるくてうすいからいいな」と思った。

はさみで切って四角のはこを作った。かるいほうがいいので中に，スポンジのつつをゴムで止めた。

はこはあがってきたが羽がうまくうごかない。はり金でやったり，ゴムを強くしたりいろいろやってやっとかたほうの羽が動くようになった。両ほう動かないとつまらないので，2号を作った。千葉へごほうびをもらいに行った時は，どきどきして，頭まで心ぞうの音がひびいてきた。

するどい観察力＝宇和くん

組一ばんの長身、活動的で特に体育が大好き。運動会には紅白選手として毎年活躍している。

遊びもクラスのリーダー格で，ボール，木のぼり，ひみつの城つくりと，ひとときもじっとしていない。

学習も理解力すぐれ各教科共に良い。特に理科学習は，観察の目がするどく事物現象をよくとらえる。反面観察記録などはやゝ苦手である。読書の傾向は，物語り的なものより，植物・生物・宇宙関係などの科学的なものを好む。

例年当村で開かれる「夏休み作品展」理科の部に出品するため，ゴムのねじれが元にかえることに目を向け，これを利用した「鳥のロボット」を作製した。

今後も広い視野でのびのびとしたアイデアマンに，そして細かなことにも着々と研究を積みかさねていく人になってもらいたい。

富里南小学校　櫻本　富子

海外教育事情視察と理科教育 (3)

板橋　義夫

スイスには一週間おりましたので此処で私なりにみたスイスを少し紹介したいと思います。まずスイスはチューリッヒの空港におり，バスでベルンまで走りましたが，実に絵のように美しい国です。季節的に緑一色の中にきれいな花が沢山咲いており，農家なども形が統一され，色も又州カラーとのことで同じような色にぬられておりました。木一本，庭木一本切るにも役所の認可がいるとか，それ程風致を大切にしている国です。道路も民家も紙くず一つみつからず煙草の吸いがらも全くといってよい程見つけることができませんでした。又各家のベランダにはゼラニウムの花が咲きみだれ，何時手入れをするのか，しおれたのを見たことがありませんでした。これは国全体が美しいスイスをあくまで守り続けていこうという方針によるもので，憲法は勿論，国歌の中にも歌いこまれているとのことでした。又観光にも実に力を入れておりユングフラウヨッホという約四千米級の登山もいたしましたが，大体日本の富士山位のところまでケーブルが通じております。終着駅には展望台があり特別の服装をしなくても簡単にのぼれるようになっております。これは一例にすぎませんが，スイスの観光はいたれりつくせりです。ホテルなどもどこの国の人が来てもまごつかないよういろいろ配慮されております。商店なども日本人の売子がおるところがあり大変便利ではあったが，余り日本的であるとかえって外国にきた雰囲気もうすくなり，商品もおしつけられる感じがしないでもありませんでした。その点全然言葉のわからない店で数字をお互いに並べて，どうやら買物をし，サンキュウ，アリガトウなどと互いの国の言葉で別れたときなどのほうが何かすっきりした感じがいたしました。

"藤倉電線" 工場見学

本年度の研究部行事のひとつである工場見学会が十月二十七日行われた。十月にしては肌寒さをおぼえる午後であったが，二十余名の会員が参加，佐倉市台に広がる藤倉電線佐倉工場を見学することができた。

・以下は見学会に参加した感想である。

工場見学会に参加して

八街中央中　祝出　和子

緑の台地の上の清楚な建物，ここ藤倉電線の佐倉工場は想像していた工場のイメージからはるかに遠かった。独自の構想からなる二十四米おきにがっしり組まれた柱に支えられた工場……ここに一歩足を踏み入れておどろいた。整然とおかれた機械，チリ一つない床そして七百人近くいるといわれる従業員がまばらにさえみえる。機械の音さえも静かな印象を受けた。

太さ0.四五ミリの銅線への塗装，縒りあわせ集合・次々とすすむ工程，一つの製品をつくりだすための各所にみられる特許，工夫の数々，目をみはるものばかりであった。縒り合わせ「工程では"芸術"のといいたくなるような銅線が色とりどりにきれいに並び，その様子はまるで紡績工場のようであった。案内の方といっしんに討論をしていらっしゃる先生，機械の動きをじっと見入る先生，何かをものにしようとする気力にあふれた姿に，私は学ぶものが多かった。

外には製品の梱詰めがゴロゴロと無造作に置いてあった。直径十糎程のケーブル線，長さ五十米で千円，一巻二百米……へパチパチレウーンたったの一巻で百万円也。ここでいかにしてこれを持ち出すべきか議論百中。

二時間の見学により，私も少しは"利口"になったかな？